

## 令和2年度第3回神戸市教育委員会会議の結果

※政策形成過程を公表する趣旨から、非公開とした会議項目のうち、会議後に方針等が公表されたものは、議論の過程の一部についても記載しています。

### 協議事項5 新型コロナウイルス感染症対策に係る今後の対応について

5月25日に政府の緊急事態宣言が解除されたことに伴い、5月27日に神戸市は新型コロナウイルス感染症「対策本部」に代わり「警戒本部」を設置した。また、「警戒期における神戸市の対応方針」が示され、教育委員会も参画した「新型コロナウイルス感染症対策第1次対応検証チーム」を設置し、これまでの対応の検証と、検証から得られる次への備えに向けて取り組んでいくこと、小学校における「新入生をお祝いする会」の実施について、できる限りの工夫で在校生や教職員、保護者とともにお祝いできるよう学校に通知したこと等を報告。そのほか、新型コロナウイルス対策に万全を期しながらの学校生活のあり方について協議した。

教育長・教育委員からは、トイレ清掃のあり方について児童生徒の安全安心や教員の負担を踏まえた検討や、帽子や日傘の利用等熱中症対策の積極的な検討が必要であること、児童生徒・教員の効率的な学習・業務遂行のため、ICTを活用した学校運営を早期に推進することが大切等の意見があった。

### 協議事項8 令和2年度実施神戸市学校教員採用候補者選考試験志願状況等について

今年度の選考試験の志願状況等について、今年度は志願者総数が昨年度より減少したものの、募集人員の関係から全体の志願者倍率が増加したこと、今年度の特徴として、受験条件の緩和による社会人経験者の増加や、新たに創設された「複数免許による加点」等の制度の利用状況等を報告。

教育長・教育委員からは、小学校において英語が教科化された中で英語コースの志願者数が少ないことは課題であり、志願者の傾向を把握する必要があること、加点制度を利用して採用された教員を適切に配置し活躍してもらうことが大切である等の意見があった。